

開講学科	総合デザイン工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	機能・技術・社会とカタチ I	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		3年次	必修	18107701	
担当教員	駒田 剛司	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	土曜日	6時限
授業の教育目的・目標	<p>建築形態の変化は時代の要請に従っている。建築史を概観することにより、その事実を明らかにする。そして、建築形態を大きく変えていった要因を、また現在起こっている社会状況について知ることにより今後求められる建築形態、建築空間について受講生が自ら考えるきっかけを与えることを授業の目的とする。</p> <p>この授業を通し得た情報を、受講生が建築を含むデザイン全般の設計に携わる時に有効に活用し、より優れた提案能力を備えることを目標とする。</p>				
学科の学習・教育目標との関係	・建築計画、建築設計、都市計画などに関する学修を通じて、人にとって快適な建築物と生活空間を設計することのできる技術と能力養う。				
キーワード	デザイン、近代建築史、現代建築、空間造形、人間意識				
授業の概要	<p>純粋芸術に対し実用的機能性をもつ造形を創造する活動全般をデザイン活動と呼ぶことができよう。そして建築も多くのデザイン活動の一つであり、時代毎の社会の要請の変化に伴ってそのデザインをも変化し続けている。本授業では建築デザインを主軸にし、デザインされたものと、社会の要請、時代の美学、材料、加工、生産、運送の技術の変化、素材の合理的活用法とそれに伴う工学的進化などとの関連性について講術する。</p>				
授業の計画	<p>第1回: デザイン一般について 即日課題</p> <p>第2回: 時代の表現としての建築</p> <p>第3回: 形態と機能の関係性 I - 産業革命から19世紀末まで</p> <p>第4回: 形態と機能の関係性 II - モダニズムについて</p> <p>第5回: 形態と素材の関係性 - モダンデザインについて</p> <p>第6回: 構造形式と建築表現 I - 産業革命から19世紀末まで</p> <p>第7回: 構造形式と建築表現 II - モダニズムについて</p> <p>第8回: 合理的建築と非合理的建築</p> <p>第9回: 部分と全体の関係性 - カルロ・スカルパの建築</p> <p>第10回: 建築と都市の関係性</p> <p>第11回: 建築と地形の関係性</p> <p>第12回: 外部空間と内部空間の関係性</p> <p>第13回: 現代建築のデザイン傾向とその背景 - ポストモダン以前</p> <p>第14回: 現代建築のデザイン傾向とその背景 - ポストモダン以後</p> <p>第15回: 即日課題 まとめ</p>				
受講条件・関連科目	<p>受講条件: 上位学年履修は不可。</p> <p>関連科目: 建築史</p>				
授業方法	パワーポイントを用い数多くの事例を示しながら講義を行う。				
テキスト・参考書	毎回プリントを配布。参考書: 新建築学体系・近現代建築史				
成績評価	<p>・期末試験(30%)・レポート(60%)・小テスト(%)</p> <p>・その他(即日課題 10%)</p>				
履修上の注意					